

(小規模企業景気動向調査)

三重の景況

No.70

(平成29年1月～6月期)

三重県商工会議所連合会
桑名商工会議所
四日市商工会議所
鈴鹿商工会議所
亀山商工会議所
津商工会議所
松阪商工会議所
伊勢商工会議所
鳥羽商工会議所
上野商工会議所
名張商工会議所
尾鷲商工会議所
熊野商工会議所

はじめに（総括）

三重県商工会議所連合会では、県内 12 商工会議所合同で、地区の小規模企業を対象とした景況調査を年 2 回実施しています。このたび平成 29 年上期の調査結果がまとまりましたのでご報告します。

三重県内の景況を示す指標である「現状」の D I 値は、▲20.4 と平成 28 年下期に比べ 3.5 ポイント改善しました。

業種別の「現状」D I 値は、製造業▲17.2（前期▲24.2）、建設業▲6.9（前期▲9.5）、卸売業▲27.4（前期▲29.2）、小売業▲46.8（前期▲47.8）、飲食業▲23.0（前期▲25.6）、サービス業▲16.5（前期▲19.6）、交通運輸業▲19.5（前期▲24.0）、その他の業種▲4.2（前期▲17.0）と全ての業種が改善しています。

地区別の「現状」D I 値は、北勢地区▲15.8（前期▲21.8）、中勢地区▲26.5（前期▲26.9）、南勢地区▲17.9（前期▲15.9）、伊賀地区▲26.9（前期▲27.6）、東紀州地区▲41.5（前期▲43.5）となり、南勢地区以外が改善しています。

また、「今後の見通し」の D I 値は▲22.9 となり、現状の D I 値と比較すると 2.5 ポイントの若干の悪化になると見通しています。地区別では、中勢地区、伊賀地区、東紀州地区において現状の D I 値より改善の見通しとなり、業種別では小売業、飲食業、サービス業、交通運輸業において現状の D I 値より改善の見通しとなりました。

「売上状況」、「利益状況」、「仕入条件」の項目では、全体としてはいずれの D I 値も前期からほぼ横ばいの傾向となっており、「販売条件」の項目のみ 4.3 ポイント改善されました。地区別の「売上状況」は全ての地区で横ばいか悪化、「利益状況」は北勢地区のみ改善、「販売条件」は伊賀地区を除く全ての地区で改善、「仕入条件」は北勢地区・東紀州地区で改善の傾向となりました。

景気の方角性を示す「設備投資」の項目は、「行った」とした割合が全体で 15.1%（前期 16.4%）と 1.3%減少、「予定している」とした割合は、全体で 13.3%（前期 12.1%）と 1.2%増加しました。業種別では、飲食業が 24.1%で割合が最も高く、地区別の実績では南勢地区が 16.6%、設備投資の予定では北勢地区、中勢地区が 14.2%で最も高くなっています。

「借入の状況（難易度）」の D I 値は、全体で 6.5（前期 3.5）と 3.0 ポイント改善したほか、「借入を予定している」と回答した企業の割合は 14.3%（前期 12.8%）、「使途予定」については『運転資金』の割合は 65.8%（前期 64.4%）、『設備資金』の割合は 32.7%（前期 31.8%）となりました。

以上が本調査結果の概要です。本調査報告書が皆様の今後の企業経営の参考や小規模企業に対する皆様の更なる理解に資することになれば幸いに存じます。

最後に本調査の実施、作成にあたりましては、調査対象企業をはじめ関係各位の皆様にご協力を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

平成 29 年 8 月

三重県商工会議所連合会

も く じ

(調 査 内 容)

・ 調査要領	1
1. 現状と今後の見通し	4
現況D I 値の推移	6
2. 売上状況	8
3. 今後の売上見通し	8
4. 利益状況	9
5. 販売条件	9
6. 仕入条件	10
7. 設備投資	10
8. 資金繰り状況と今後の見通し	11
9. 借入状況	12
借入難易度D I 値の推移	13
10. 借入予定	14
11. 借入希望先	14
12. 借入金の使途予定	15
13. 経営上の問題点	15
・ 県内商工会議所地区の景況	17
・ 景況調査票	

「三重の景況」調査要領

1. 調査目的

当調査は、三重県商工会議所連合会と県内 12 商工会議所〔*1〕が、小規模企業〔*2〕の動向を合同で調査することにより、県内小規模企業の景況把握を、地区別〔*3〕に行い、合わせて各会議所地区の景況を調査することにより、各商工会議所の事業活動の参考とすることを目的とする。

〔*1〕 県内商工会議所

桑 名商工会議所	中小企業相談所
四日市商工会議所	中小企業相談所
鈴 鹿商工会議所	中小企業相談所
亀 山商工会議所	中小企業相談所
津 商工会議所	中小企業相談所
松 阪商工会議所	中小企業相談所
伊 勢商工会議所	中小企業相談所
鳥 羽商工会議所	中小企業相談所
上 野商工会議所	中小企業相談所
名 張商工会議所	中小企業相談所
尾 鷲商工会議所	中小企業相談所
熊 野商工会議所	中小企業相談所

〔*2〕 小規模企業（中小企業基本法による）

卸売・小売・サービス業は従業員 5 人以下、製造・建設・その他の業種については 20 人以下。（会社の役員・家族従業員・パートを除く）

〔*3〕 県内各地区は下記のとおり

北勢地区……桑名・四日市・鈴鹿・亀山
中勢地区……津・松阪
南勢地区……伊勢・鳥羽
伊賀地区……上野・名張
東紀州地区…尾鷲・熊野

2. 調査対象・回答状況

県内 12 商工会議所の会員企業中、任意抽出した小規模企業 9,669 事業所を対象とした。回答状況は、回答率 28.8%、回答企業 2,789 事業所であった。

3. 調査方法

F A X または郵送方法によるアンケート方式

4. 調査期間

平成 29 年 7 月 1 日～7 月 14 日

※ 当調査は、“1 月～6 月期”と“7 月～12 月期”の年 2 回、調査を実施している。

5. 集計方法

外部委託を行い、一括コンピュータ集計を行った。

6. 調査結果の取りまとめ

調査結果の取りまとめについては、桑名・四日市・鈴鹿・亀山の 4 商工会議所が担当した。
なお、各商工会議所地区の景況は当該商工会議所が担当した。

D I 値（ディフュージョン・インデックス）の見方について

D I とは景気動向を示す指標で、調査時点における企業家の経済行動（強気や弱気など）を知るものであり、景気動向を客観的に判断する資料として幅広く使用されているもので、特に言及のない限り、「増加」「好転」したとする企業割合から、「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

(注) 図表中の数値表示について

図表中の数値については小数点以下第 2 桁で四捨五入をしているため、合計が 100.0 にならない場合がある。(マイナスは▲表示)

業種別・地区別回答状況

単位:企業 ():% 上:業種別構成率 下:地区別構成率

業種	地区	北勢				中勢			南勢			伊賀			東紀州			計		
		桑名	四日市	鈴鹿	亀山	津	松阪	伊勢	鳥羽	上野	名張	尾鷲	熊野							
製造業	食料	62	10	32	15	5	25	6	19	18	9	9	11	7	4	16	13	3	132	
	せんい	16	5	6	3	2	2	0	2	0	0	0	4	3	1	1	1	0	23	
	機械	83	35	30	16	2	8	3	5	8	2	6	5	4	1	1	1	0	105	
	金属製品	84	34	20	22	8	14	5	9	9	2	7	4	2	2	4	3	1	115	
	木材	15	8	3	0	4	17	0	17	4	3	1	0	0	0	11	10	1	47	
	化学	13	2	8	1	2	2	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	16	
	窯業	21	1	18	2	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	2	1	1	25	
	印刷出版	14	4	3	5	2	14	7	7	2	2	0	0	0	0	2	1	1	32	
	その他	73	21	24	19	9	14	5	9	11	5	6	6	2	4	4	2	2	108	
計	381 (23.9) (63.2)	120	144	83	34	98 (19.6) (16.3)	27	71	52 (15.7) (8.6)	23	29	31 (17.0) (5.1)	18	13	41 (23.0) (6.8)	32	9	603 (21.6) (100.0)		
非製造業	建設業	土木工事	108	18	50	33	7	16	5	11	9	4	5	12	4	8	9	8	1	154
		建築工事	199	40	97	53	9	52	23	29	25	13	12	8	6	2	10	8	2	294
		その他	156	26	98	25	7	55	28	27	18	14	4	9	1	8	7	5	2	245
		(小計)	463	84	245	111	23	123	56	67	52	31	21	29	11	18	26	21	5	693
	卸売業	食料	25	7	15	3	0	9	5	4	11	6	5	3	2	1	5	5	0	53
		せんい	5	1	3	1	0	2	0	2	6	6	0	0	0	0	0	0	0	13
		その他	64	20	33	7	4	19	7	12	14	11	3	10	1	9	2	0	2	109
		(小計)	94	28	51	11	4	30	12	18	31	23	8	13	3	10	7	5	2	175
	小売業	せんい	41	11	18	8	4	17	5	12	23	18	5	5	4	1	11	8	3	97
		食料	55	15	22	14	4	19	2	17	15	9	6	9	3	6	12	8	4	110
		日用品	14	10	2	2	0	4	1	3	2	2	0	0	0	0	3	2	1	23
		電気製品	18	5	4	7	2	10	5	5	6	5	1	5	3	2	6	4	2	45
		その他	103	27	42	26	8	48	9	39	30	17	13	24	10	14	18	10	8	223
		(小計)	231	68	88	57	18	98	22	76	76	51	25	43	20	23	50	32	18	498
	飲食業	73	16	26	26	5	36	8	28	40	22	18	11	4	7	10	9	1	170	
	サービス業	美容・理容	46	6	12	17	11	8	2	6	5	3	2	7	2	5	8	5	3	74
		ホテル旅館	5	0	3	2	0	2	1	1	13	3	10	1	0	1	4	2	2	25
		自動車整備	45	8	15	19	3	17	2	15	10	8	2	7	1	6	4	2	2	83
		不動産	70	15	47	3	5	16	8	8	7	7	0	7	1	6	2	2	0	102
		その他	118	39	53	12	14	41	14	27	24	20	4	19	4	15	9	6	3	211
		(小計)	284	68	130	53	33	84	27	57	59	41	18	41	8	33	27	17	10	495
	交通運輸業	16	8	3	2	3	20	5	15	4	3	1	1	0	1	5	5	0	46	
	計	1,161 (72.7) (55.9)	272	543	260	86	391 (78.0) (18.8)	130	261	262 (79.2) (12.6)	171	91	138 (75.8) (6.6)	46	92	125 (70.2) (6.0)	89	36	2,077 (74.5) (100.0)	
その他	55 (3.4) (50.5)	0	31	15	9	12 (2.4) (11.0)	6	6	17 (5.1) (15.6)	8	9	13 (7.1) (11.9)	4	9	12 (6.7) (11.0)	8	4	109 (3.9) (100.0)		
合計	1,597 (100.0) (57.3)	392	718	358	129	501 (100.0) (18.0)	163	338	331 (100.0) (11.9)	202	129	182 (100.0) (6.5)	68	114	178 (100.0) (6.4)	129	49	2,789 (100.0) (100.1)		

1. 現状と今後の見通し

a) 現状

全回答企業 2,789 事業所中、「良い・やや良い」が 18.8%、「変わらない」が 41.8%、「悪い・やや悪い」が 39.2%で、D I 値は▲20.4（前期▲23.9）となり前期より 3.5 ポイント改善している。

業種別の D I 値では、製造業▲17.2、建設業▲6.9、卸売業▲27.4、小売業▲46.8、飲食業▲23.0、サービス業▲16.5、交通運輸業▲19.5、その他▲4.2 となった。

地区別の D I 値では、北勢地区と東紀州地区で改善が見られた。北勢地区▲15.8、中勢地区▲26.5、南勢地区▲17.9、伊賀地区▲26.9、東紀州地区▲41.5 であった。

図-1 現状について（業種別）

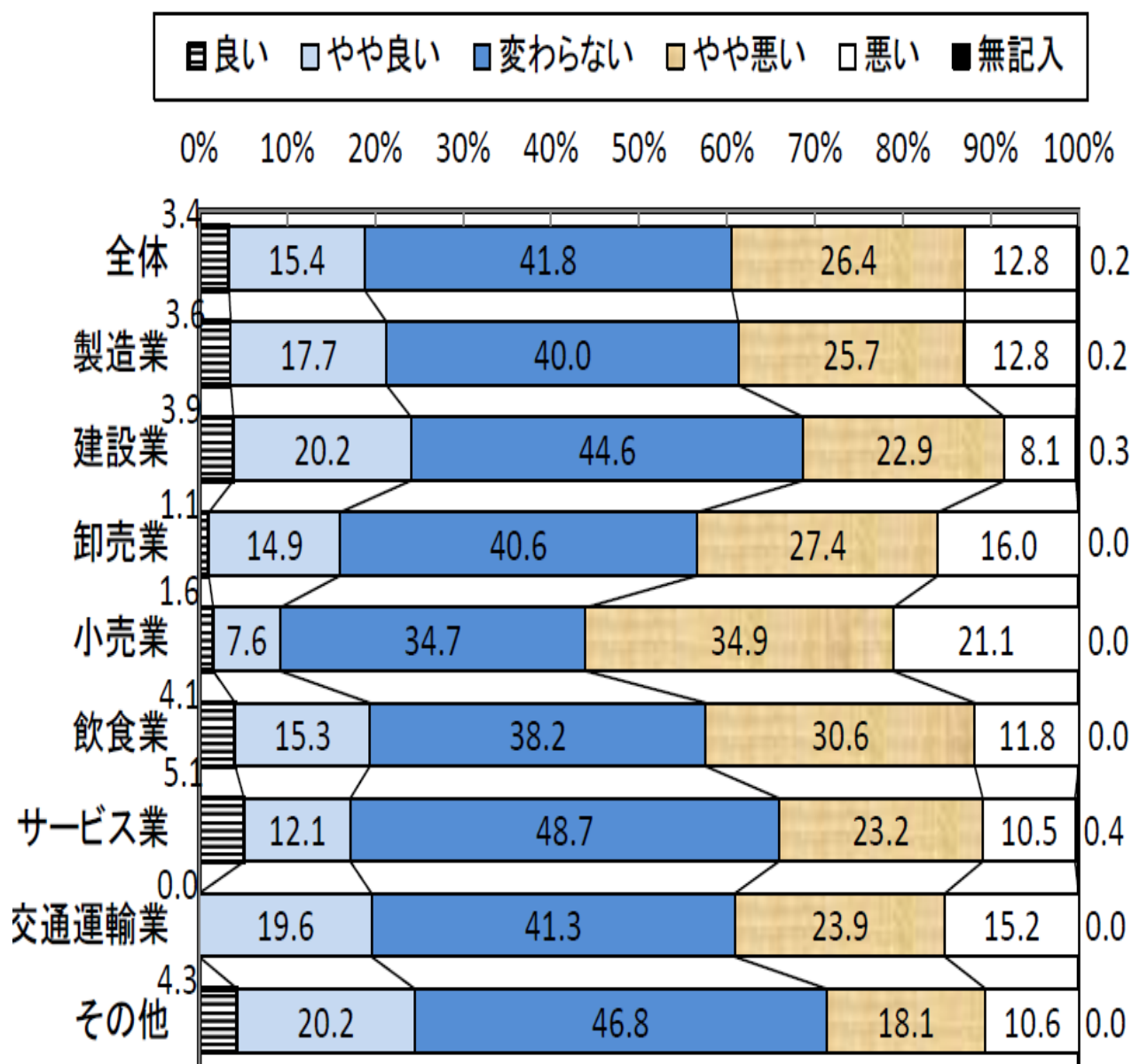


図-2 現状について（全体・地区別）

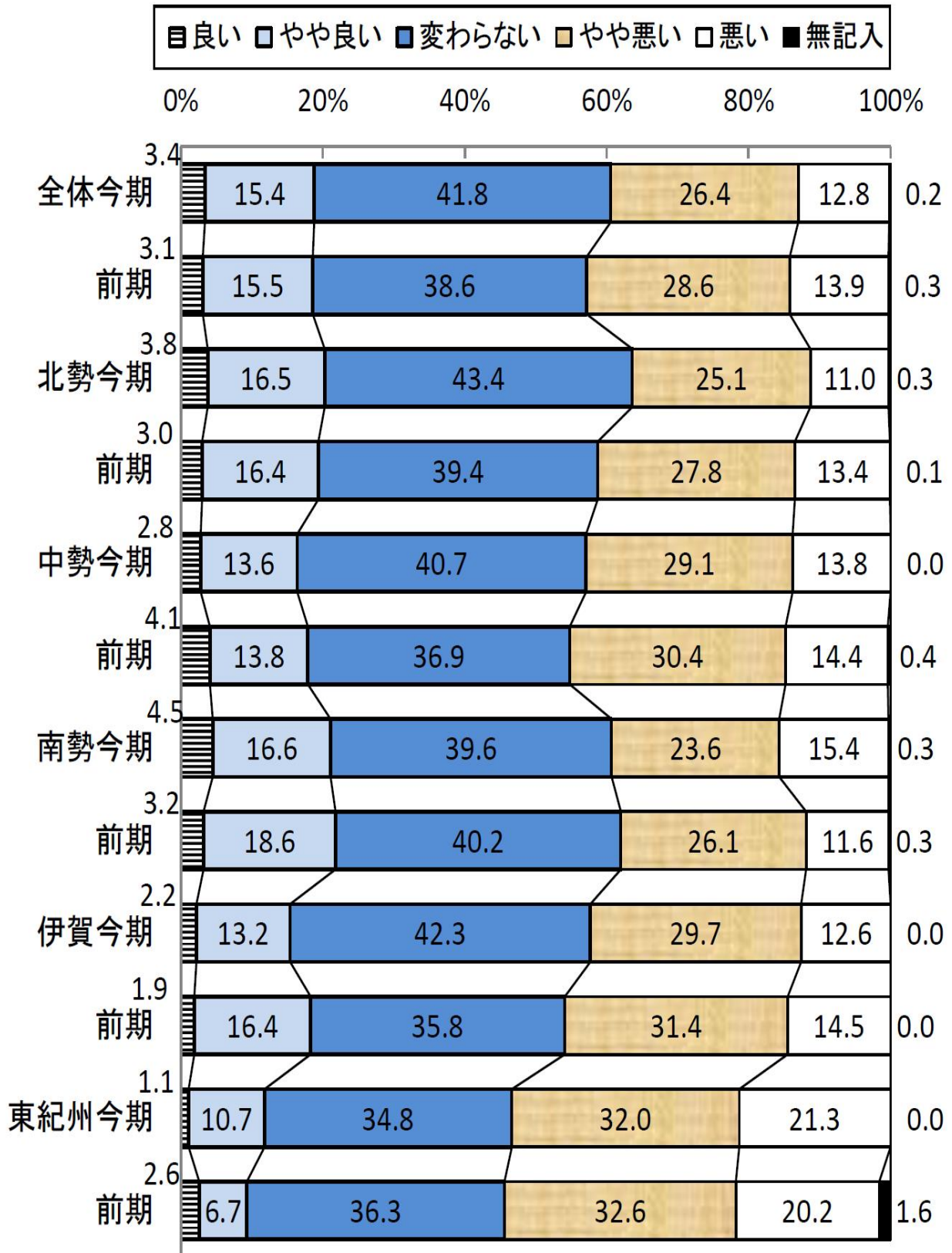
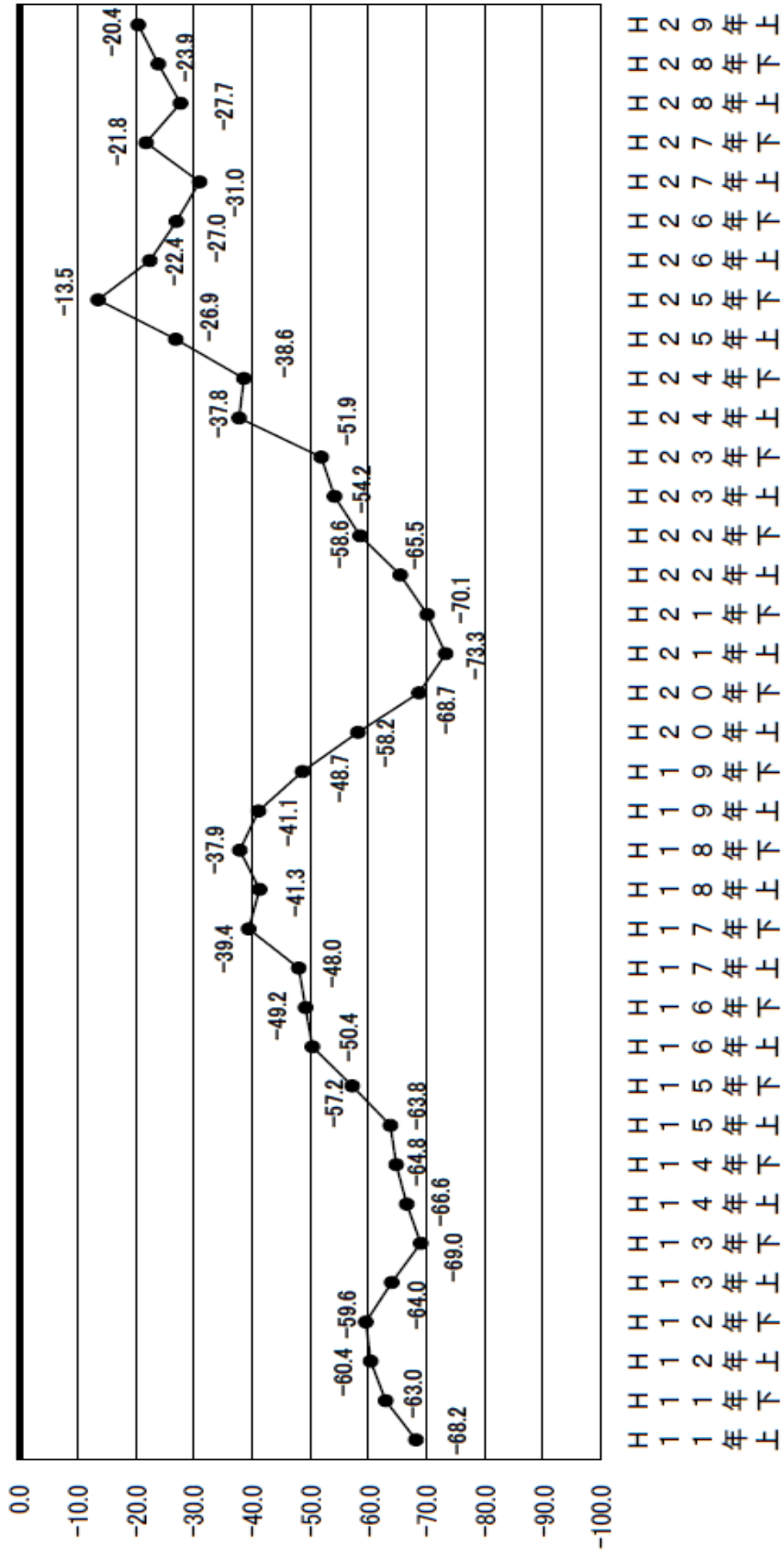


図-3 現況DI値の推移



(注) HI17 下期分までの値はBSI 値を2倍した数値で表示

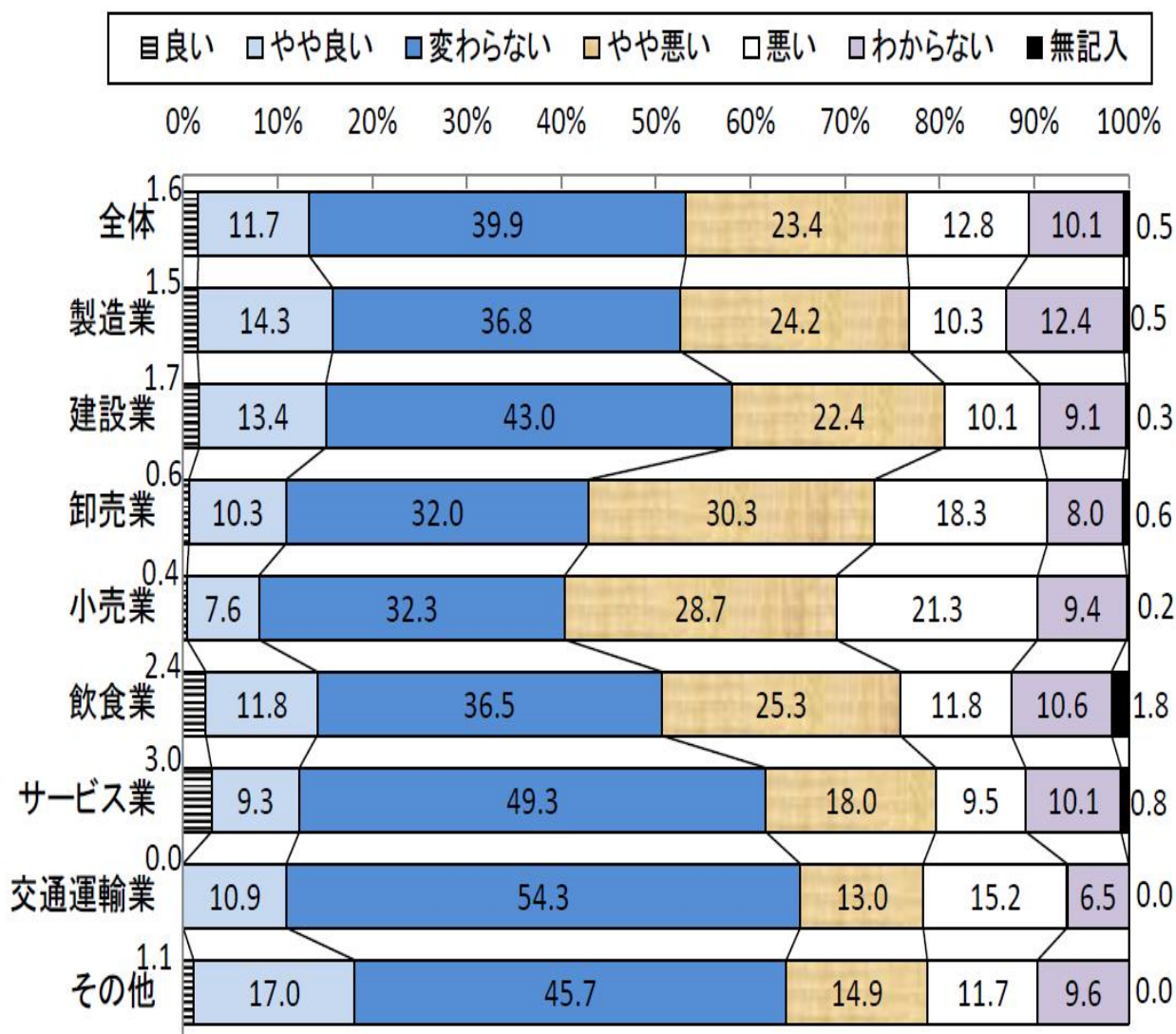
b) 見通し

全体的見通しでは、「良い・やや良い」が13.3%、「悪い・やや悪い」は36.2%で、D I値は▲22.9（現状D I値▲20.4）となり、2.5ポイント悪化した。

業種別のD I値は、製造業▲18.7、建設業▲17.4、卸売業▲37.7、小売業▲42.0、飲食業▲22.9、サービス業▲15.2、交通運輸業▲17.3、その他▲8.5となった。

地区別のD I値では、中勢地区・伊賀地区・東紀州地区は改善が見られ、北勢地区▲20.2、中勢地区▲21.8、南勢地区▲28.4、伊賀地区▲25.3、東紀州地区▲39.3であった。

図-4 今後の見通しについて（業種別）



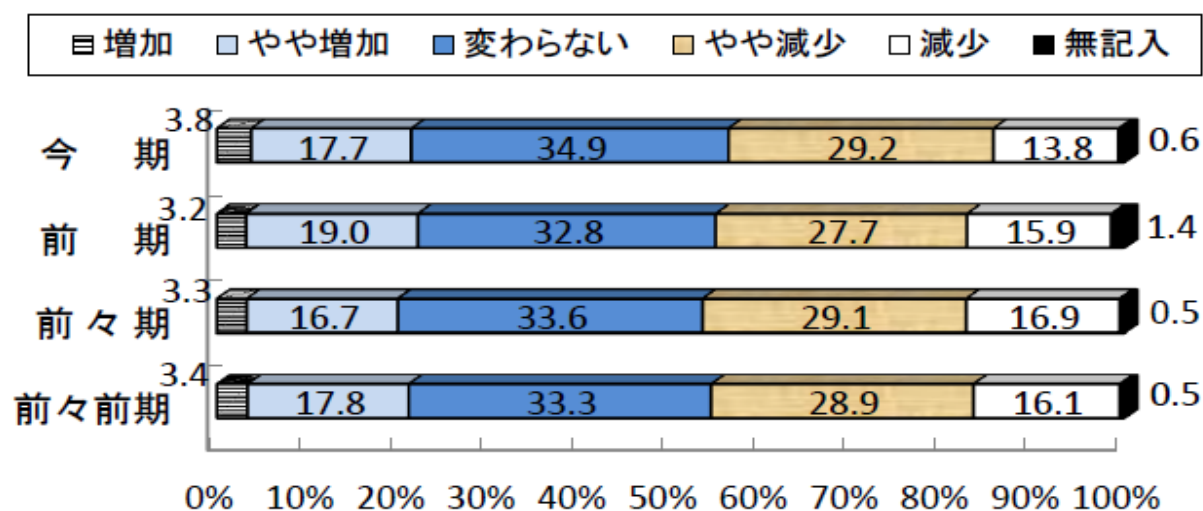
2. 最近の売上状況

全体では、「増加・やや増加」が 21.5%（前期 22.2%）、「やや減少・減少」が 43.0%（前期 43.6%）で、D I 値は▲21.5（前期▲21.4）となり、ほぼ横ばいの結果となった。

業種別では、製造業、卸売業、小売業において改善が見られ、製造業▲16.9、建設業▲11.4、卸売業▲22.3、小売業▲44.9、飲食業▲23.0、サービス業▲19.0、交通運輸業▲19.6、その他▲8.5となった。

地区別のD I 値では、北勢地区・中勢地区・南勢地区ではほぼ横ばい、他の地区においては悪化となった。北勢地区▲18.1、中勢地区▲26.1、南勢地区▲17.6、伊賀地区▲25.3、東紀州地区▲42.1であった。

図-5 売上状況



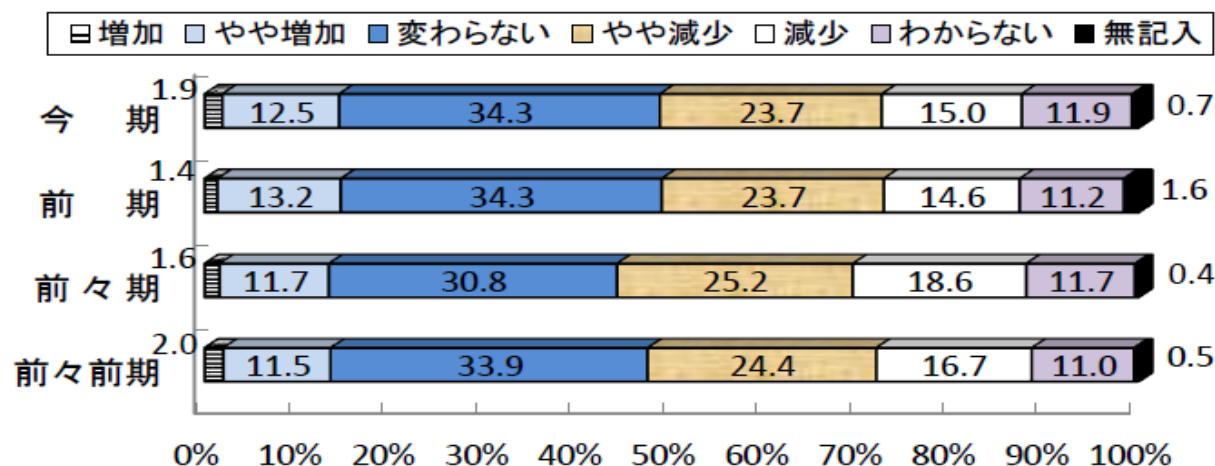
3. 今後の売上見通し

全体では、「増加・やや増加」が 14.4%（前期 14.6%）、「やや減少・減少」が 38.7%（前期 38.3%）で、D I 値は▲24.3（現状D I 値▲21.5）となり、悪化見通しとなった。

業種別では、小売業、サービス業、交通運輸業において改善が見られ、製造業▲18.3、建設業▲20.3、卸売業▲30.9、小売業▲43.8、飲食業▲25.9、サービス業▲18.2、交通運輸業▲15.2、その他▲12.7となった。

地区別のD I 値では、中勢地区と東紀州地区において改善の見通しとなった。北勢地区▲21.8、中勢地区▲23.4、南勢地区▲28.7、伊賀地区▲28.6、東紀州地区▲37.6であった。

図-6 売上見通し



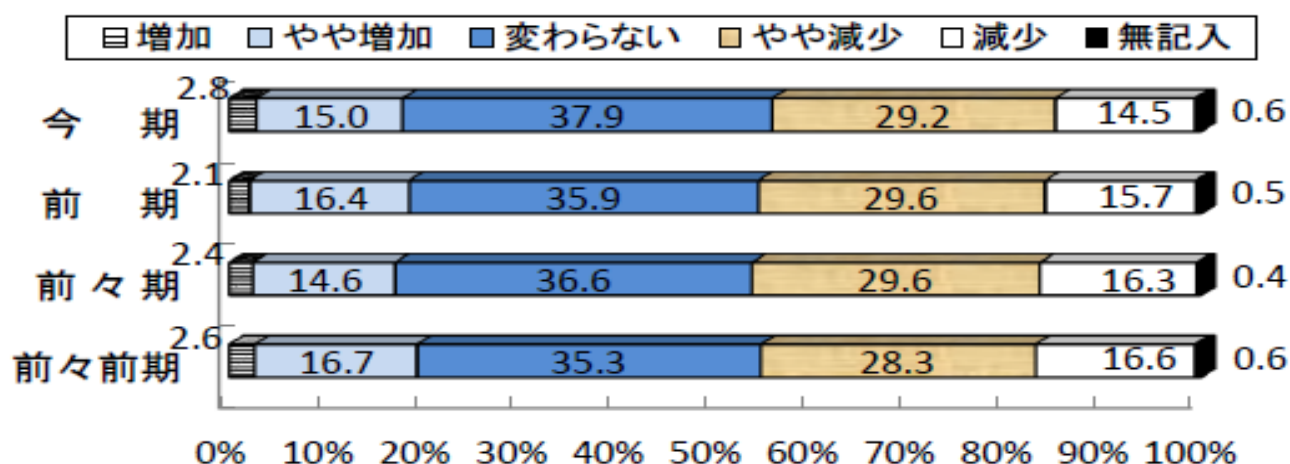
4. 利益状況

全体では、「増加・やや増加」が17.8%（前期18.5%）、「やや減少・減少」が43.7%（前期45.3%）で、D I値は▲25.9（前期▲26.8）となり、ほぼ横ばいの結果となった。

業種別では、建設業、飲食業、サービス業、その他の業種において改善が見られ、製造業▲22.0、建設業▲13.2、卸売業▲30.8、小売業▲49.9、飲食業▲32.9、サービス業▲23.3、交通運輸業▲17.4、その他▲14.9となった。

地区別のD I値では、北勢地区において改善が見られた。北勢地区▲21.0、中勢地区▲31.7、南勢地区▲27.8、伊賀地区▲31.9、東紀州地区▲44.9であった。

図-7 利益状況



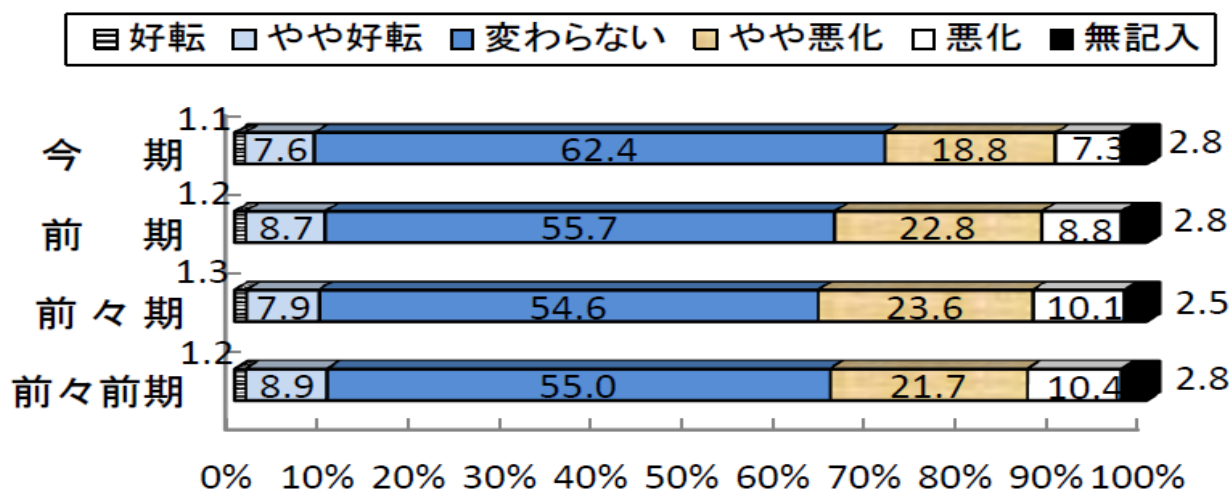
5. 販売条件

全体では、「好転・やや好転」が8.7%（前期9.9%）、「やや悪化・悪化」が26.1%（前期31.6%）で、D I値は▲17.4（前期▲21.7）となり、4.3ポイント改善した。

業種別では、交通運輸業を除く全ての業種において改善が見られ、製造業▲13.7、建設業▲12.6、卸売業▲16.5、小売業▲31.3、飲食業▲20.0、サービス業▲15.8、交通運輸業▲17.4、その他▲6.4となった。

地区別のD I値では、伊賀地区を除く全ての地区において改善が見られた。北勢地区▲16.4、中勢地区▲17.0、南勢地区▲14.4、伊賀地区▲21.5、東紀州地区▲28.2であった。

図-8 販売条件



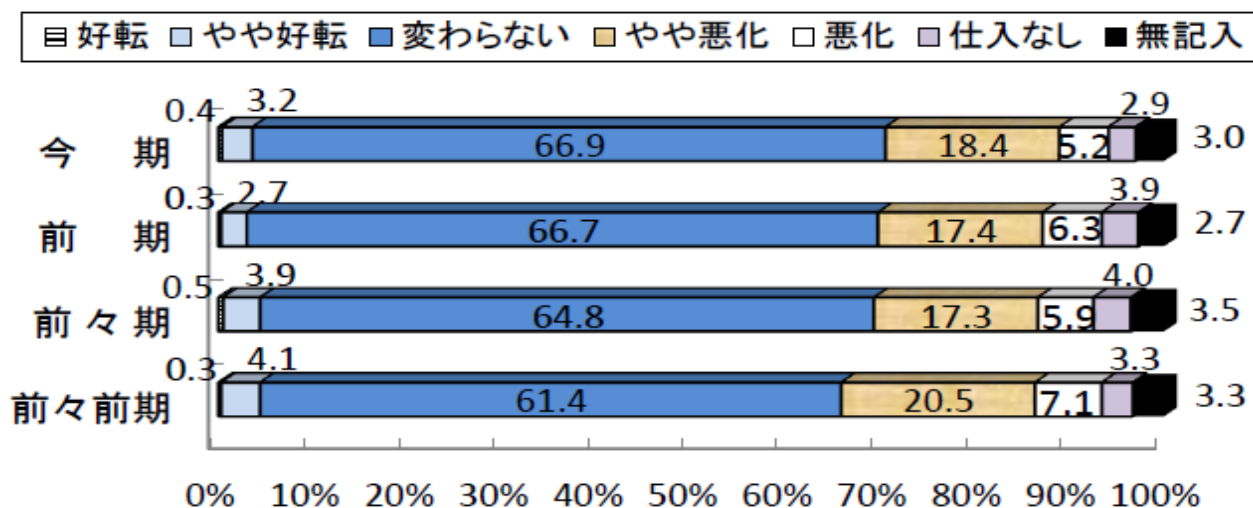
6. 仕入条件

全体では、「好転・やや好転」が 3.6%（前期 3.0%）、「やや悪化・悪化」が 23.6%（前期 23.7%）で、D I 値は▲20.0（前期▲20.7）となり、ほぼ横ばいの結果となった。

業種別では、製造業と飲食業が悪化し、製造業▲21.1、建設業▲13.5、卸売業▲24.0、小売業▲26.9、飲食業▲43.0、サービス業▲14.3、交通運輸業▲13.1、その他▲5.3となった。

地区別のD I 値では、北勢地区と東紀州地区で改善し、北勢地区▲18.2、中勢地区▲21.2、南勢地区▲23.0、伊賀地区▲23.1、東紀州地区▲25.3であった。

図-9 仕入条件



7. 設備投資

全体では、設備投資を行った企業は 422 社、15.1%（前期 437 社）、設備投資を予定している企業は 372 社、13.3%（前期 322 社）であった。

業種別では、飲食業が 24.1%と、それ以外の業種よりも設備投資を行った割合が高いという結果となった。設備投資の予定については、交通運輸業が 26.1%と最も高い割合であった。

地区別では、南勢地区が実績 16.6%と最も高く、設備投資の予定は北勢地区と南勢地区の 14.2%が最も高い割合であった。

図-10 設備投資の実績

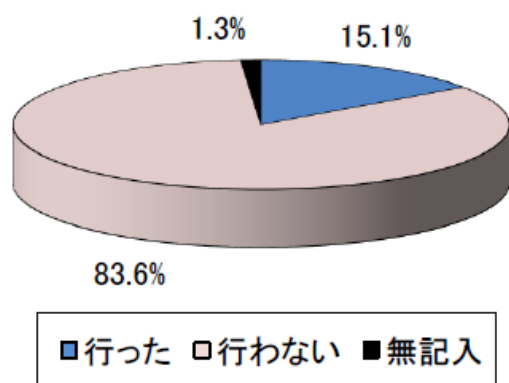
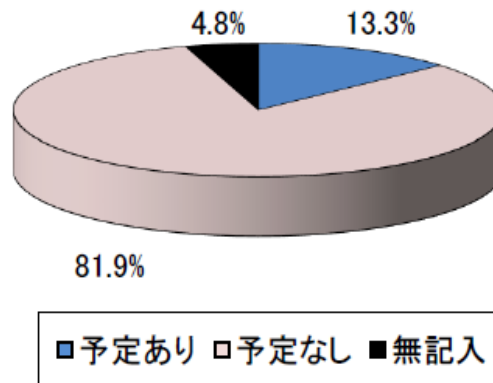


図-11 設備投資の予定



8. 資金繰り状況と今後の見通し

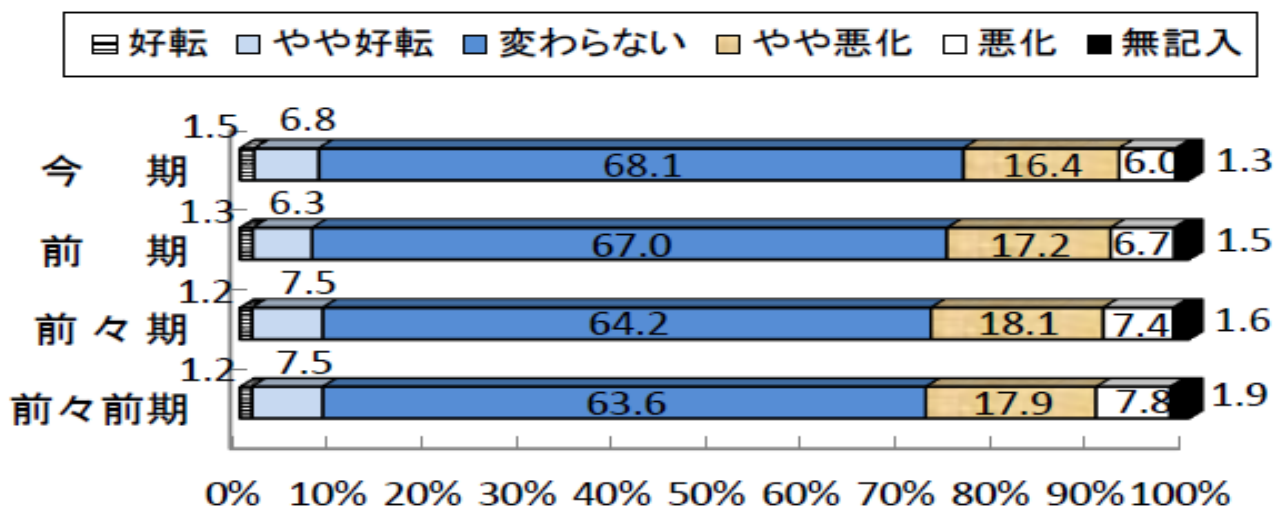
a) 現状

全体では「好転・やや好転」が 8.3%（前期 7.6%）に対し「悪化・やや悪化」は 22.4%（前期 23.9%）で、D I 値は▲14.1（前期▲16.3）となり、2.2ポイント改善した。

業種別D I 値は、製造業、建設業、卸売業、飲食業、その他の業種で改善が見られた。

地区別D I 値は、北勢地区、南勢地区、東紀州地区で改善が見られる結果となった。北勢地区▲10.8、中勢地区▲15.8、南勢地区▲17.2、伊賀地区▲21.5、東紀州地区▲24.2であった。

図-12 資金繰りの現状



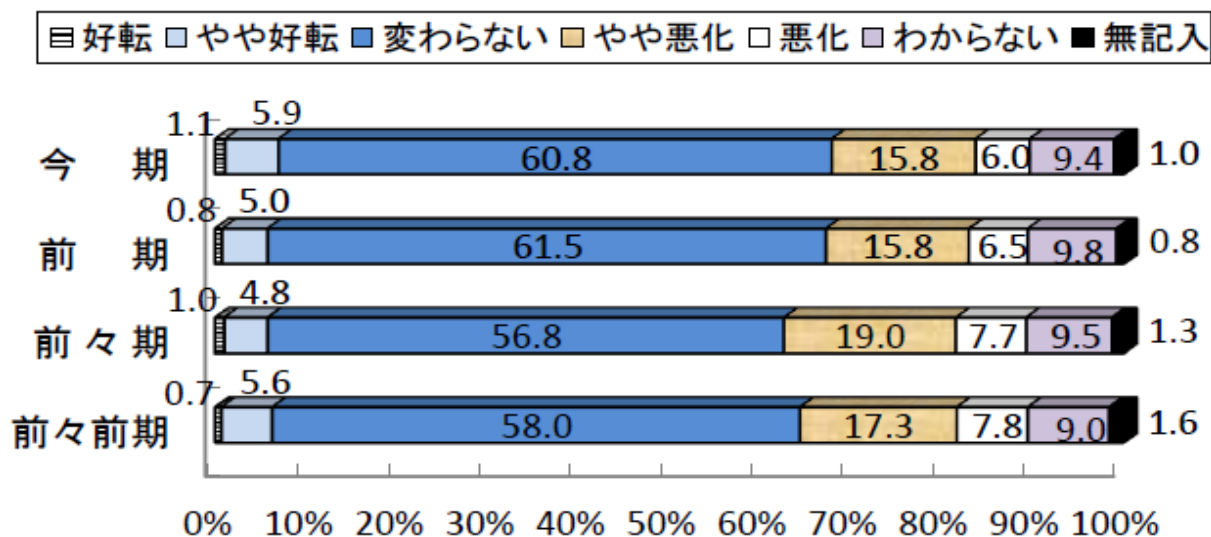
b) 見通し

全体では「好転・やや好転」が 7.0%（前期 5.8%）に対し「悪化・やや悪化」は 21.8%（前期 22.3%）で、D I 値は▲14.8（前期▲16.5）となり、現状のD I 値（▲14.1）とほぼ横ばいであった。

業種別D I 値は、製造業、建設業、小売業、飲食業、サービス業、その他の業種で改善の見通しである。

地区別D I 値は、中勢地区と伊賀地区で改善の見通しとなった。北勢地区▲12.6、中勢地区▲13.2、南勢地区▲21.5、伊賀地区▲18.1、東紀州地区▲24.8であった。

図-13 資金繰りの見通し



9. 借入状況

a) 現状

回答企業 2,789 社のうち、借入を実施した企業は、1,143 社、41.0%（前期 1,102 社）であった。

b) 借入の難易度

全体では、借入を実施した企業のうち、「容易」が 16.2%（前期 14.6%）、「困難」は 9.7%（前期 11.1%）で、D I 値は 6.5（前期 3.5）となり、3.0 ポイント改善した。

業種別 D I 値は、製造業、建設業、小売業、交通運輸業、その他の業種で改善が見られた。

地区別 D I 値は、中勢地区と南勢地区以外の地区は改善した。特に伊賀地区は 10.6（前期▲1.4）と大幅に改善した。北勢地区 7.1、中勢地区 3.8、南勢地区 4.5、伊賀地区 10.6、東紀州地区 6.4 であった。

図-14 借入の難易度

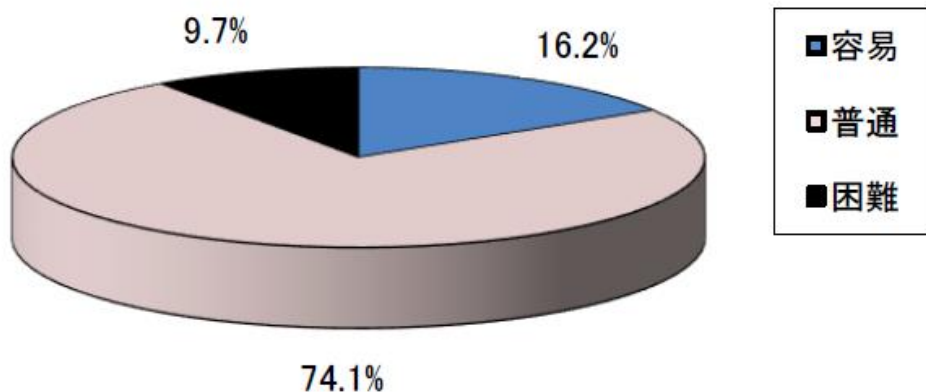
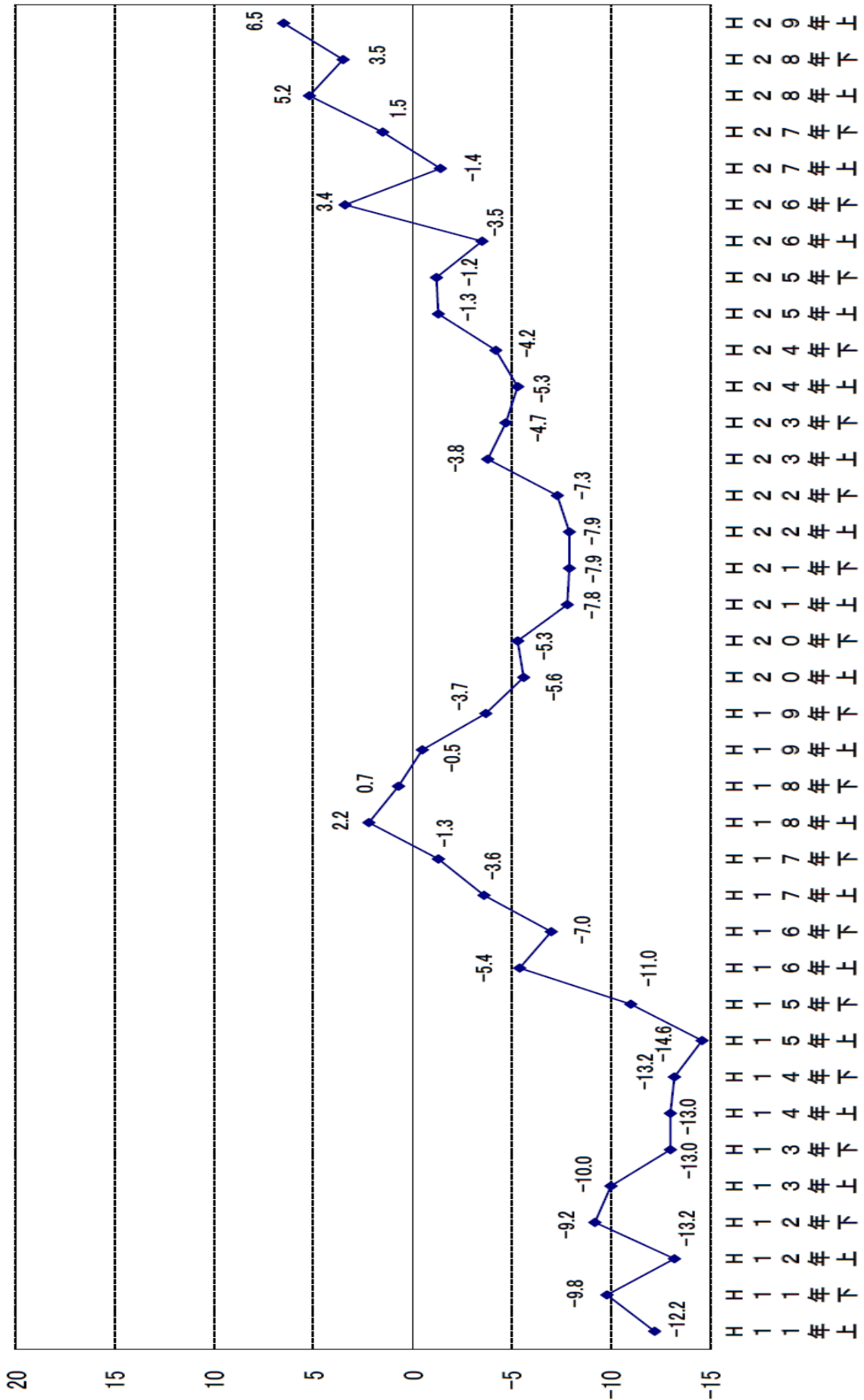


図-15 借入難易度DI値の推移



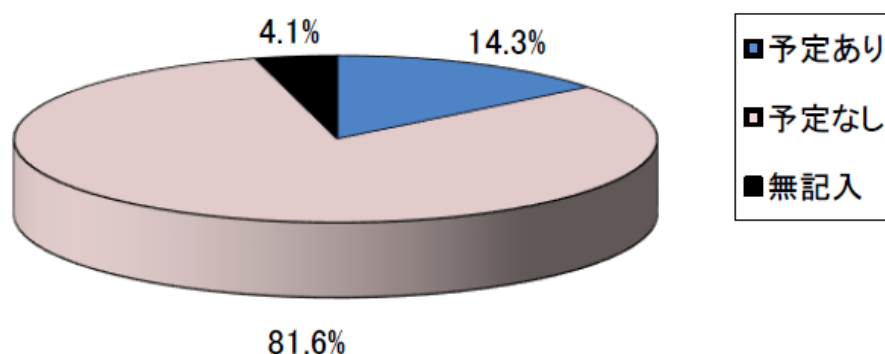
10. 借入予定

全体では、回答企業 2,789 社のうち、借入を予定している企業は 398 社、14.3%（前期 340 社）であった。

業種別で見ると、借入を予定しているのは交通運輸業が 26.1%と最も高く、小売業が 7.6%と最も低かった。

地区別では、東紀州地区が 15.2%と最も高く、伊賀地区が 12.6%と最も低かった。

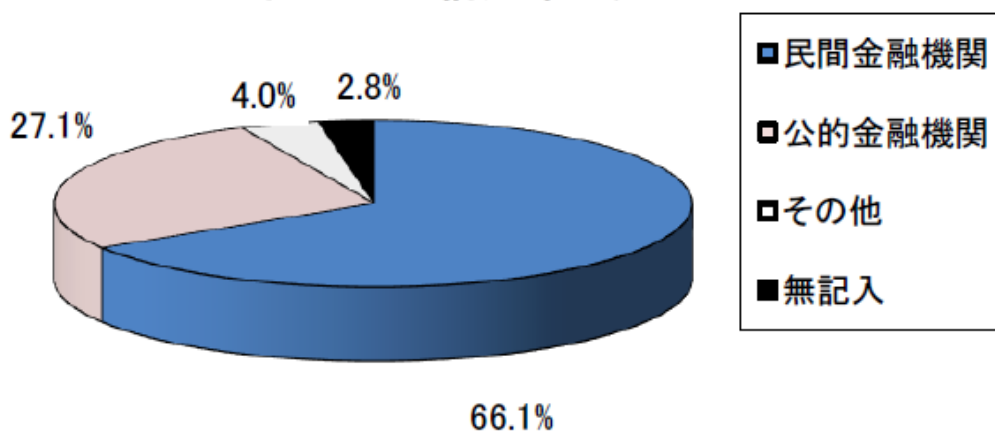
図-16 借入予定



11. 借入希望先

借入を予定している企業のうち、「民間金融機関」が 66.1%（前期 64.7%）、「公的金融機関」は 27.1%（前期 28.8%）となった。

図-17 借入希望先

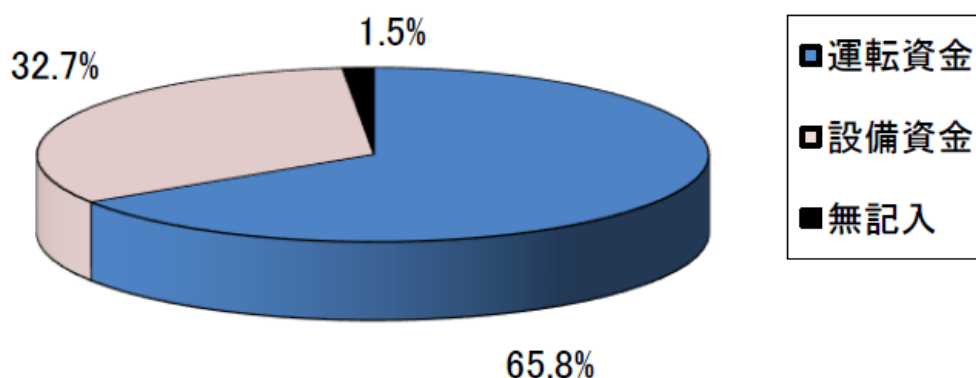


12. 借入金の使途予定

全体では、借入を予定している企業のうち、「運転資金」が65.8%（前期64.4%）に対し、「設備資金」は32.7%（前期31.8%）であった。

業種別では、「運転資金」で卸売業が95.0%、「設備資金」で交通運輸業が83.3%と、それぞれ最も高かった。

図-18 借入金の使途予定



13. 経営上の問題点

全体では、「売上・受注の停滞減少」が43.2%（前期46.0%）、「人手不足」が26.6%（前期24.4%）、「競争激化」が21.5%（前期24.2%）となった。

業種別では、建設業とその他の業種を除く全ての業種で「売上・受注の停滞減少」の回答が最も多かった。2位の回答である「人手不足」は、製造業、建設業、サービス業、交通運輸業、その他の業種で上位となった。

また、「設備店舗の狭小老朽化」が製造業、卸売業、小売業、飲食業で上位となった。

表－1 経営上の問題点(3項目以内複数回答)

表－1 経営上の問題点(3項目以内複数回答)

区 分		第 1 位	第 2 位	第 3 位
業 種 別	製 造 業	売上・受注の停滞減少 (43.1)	設備・店舗の狭小老朽化 (26.7)	人手不足 (26.2)
	建 設 業	人手不足 (44.3)	売上・受注の停滞減少 (40.0)	人材育成 (33.0)
	卸 売 業	売上・受注の停滞減少 (53.7)	競争激化 (30.3)	設備・店舗の狭小老朽化 (15.4)
	小 売 業	売上・受注の停滞減少 (61.8)	競争激化 (30.7)	設備・店舗の狭小老朽化 (18.5)
	飲 食 業	売上・受注の停滞減少 (38.2)	原材料高及び不足 (37.1)	設備・店舗の狭小老朽化 (34.1)
	サービス業	売上・受注の停滞減少 (31.5)	競争激化 (24.2)	人手不足 (20.0)
	交通運輸業	売上・受注の停滞減少 (39.1)	人手不足 (34.8)	人件費以外の経費増加 (28.3)
	そ の 他	人手不足 (24.5)	売上・受注の停滞減少 (21.3)	人材育成 (18.1)
地 区 別	北 勢	売上・受注の停滞減少 (40.3)	人手不足 (31.1)	競争激化 (21.7)
	中 勢	売上・受注の停滞減少 (46.9)	競争激化 (24.8)	人手不足 (23.6)
	南 勢	売上・受注の停滞減少 (43.8)	人手不足 (22.4)	設備・店舗の狭小老朽化 (20.8)
	伊 賀	売上・受注の停滞減少 (45.6)	競争激化 (22.0)	設備・店舗の狭小老朽化 (16.5)
	東 紀 州	売上・受注の停滞減少 (55.6)	設備・店舗の狭小老朽化 (21.9)	原材料高及び不足 (16.3)
総 合		売上・受注の停滞減少 (43.2)	人手不足 (26.6)	競争激化 (21.5)

県内商工会議所地区の景況

◎ 桑名商工会議所地区（調査対象 1,561 事業所 回答状況 392 事業所）

現 状

平成 29 年 1～6 月の業況は、「良い・やや良い」が 19.2%（前期 19.1%）、「やや悪い・悪い」が 34.2%（前期 41.4%）となった。D I 値は▲15.0（前期▲22.3）となり、前期調査時に比べ 7.3 ポイント改善する結果となった。

業種別の D I 値を見ると、製造業が▲19.9（前期▲31.8）・建設業が 7.1（前期 0.0）・卸売業が▲17.8（前期▲10.0）・小売業が▲36.8（前期▲50.9）・飲食業が 6.3（前期▲13.3）・サービス業が▲10.2（前期▲14.2）・交通運輸業が▲62.5（前期▲60.0）となった。

業種別では前期 D I 値と比較して製造業、建設業、小売業、飲食業およびサービス業で改善が見られた。特に建設業と飲食業では D I 値がプラス水準を回復した。また、小売業についても水準はまだ低いながらも回復傾向を示している。一方で卸売業と交通運輸業が悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 14.2%、「やや悪い・悪い」との回答は 36.2%、D I 値は▲22.0 となった。

現状の D I 値（▲15.0%）と比較すると、7.0 ポイント業況の悪化を見通している。

業種別の D I 値を見ると製造業が▲22.5・建設業が▲2.3・卸売業が▲32.1・小売業が▲47.0・飲食業が▲6.2・サービス業が▲17.6・交通運輸業が▲37.5 となった。

業種別に現状の D I 値と比較すると、交通運輸業が 25.0 ポイント改善を見通している。一方で製造業が 2.6 ポイント、建設業が 9.4 ポイント、卸売業が 14.3 ポイント、小売業が 10.2 ポイント、飲食業が 12.5 ポイント、サービス業が 7.4 ポイントの悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く、42.1%（前期 46.0%）、「人手不足」が 27.3%（前期 22.8%）、「競争激化」が 20.4%（前期 22.8%）と前期と同じ項目が上位を占めた。

上位の中では「人手不足」の回答が上昇し単独 2 位となっており、思うように人手の確保ができていない状況が窺える。

また、業種別では、建設業の「人手不足」が 46.4%（前期 35.2%）と再度上昇傾向となり単独 1 位となったほか、同じく飲食業で 75.0%（前期 46.7%）、交通運輸業で 50.0%（前期 20.0%）と「人手不足」回答が上昇し、1 位の項目になっている。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は 50 社 12.8%（前期 14.5%）であった。前期と比較して 1.7 ポイント減少した。

業種別では、製造業が 13.3%（前期 12.1%）、建設業が 14.3%（前期 21.1%）、卸売業が 14.3%（前期 13.3%）、

小売業が 8.8%（前期 10.5%）、飲食業が 25.0%（前期 13.3%）、サービス業が 10.3%（前期 14.3%）、交通運輸業が 12.5%（前期 40.0%）となった。

前期と比較し、飲食業が 11.7 ポイントと最も増加幅が大きく、交通運輸業は、▲27.5 ポイントと最も減少幅が大きい結果となった。

◎ 四日市商工会議所地区（調査対象 2,359 事業所 回答状況 718 事業所）

現 状

平成 29 年 1～6 月の業況は、「良い・やや良い」が 22.5%（前期 20.9%）、「やや悪い・悪い」が 35.0%（前期 40.1%）となった。D I 値は▲12.5（前期▲19.2）となり、前期調査時に比べ 6.7 ポイント改善する結果となった。

業種別の D I 値を見ると、製造業が▲13.9（前期▲21.1）・建設業が 1.7（前期▲9.5）・卸売業が▲27.5（前期▲35.0）・小売業が▲47.7（前期▲53.9）・飲食業が▲38.5（前期▲34.6）・サービス業が▲5.4（前期▲8.9）・交通運輸業が▲33.3（前期▲100.0）・その他の業種が 3.2（前期 10.0）となった。

業種別では前期 D I 値と比較して製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業・交通運輸業で改善が見られた。特に建設業については、マイナス幅の縮小がみられプラスに改善された。一方で、飲食業・その他の業種が悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 15.6%、「やや悪い・悪い」との回答は 32.0%、D I 値は▲16.4 となった。

現状の D I 値（▲12.5）と比較すると、3.9 ポイント業況の悪化を見通している。

業種別の D I 値を見ると製造業が▲19.4・建設業が▲10.2・卸売業が▲39.2・小売業が▲31.8・飲食業が▲26.9・サービス業が▲6.9・交通運輸業が▲33.3・その他の業種が 0.0 となった。

業種別に現状の D I 値と比較すると、小売業は 15.9 ポイント、飲食業は 11.6 ポイント改善をする見通しである。交通運輸業は 0.0 ポイントであり、変化がなかった。一方で製造業が 5.5 ポイント、建設業が 11.9 ポイント、卸売業が 11.7 ポイント、サービス業が 1.5 ポイント、その他の業種が 3.2 ポイント悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く 37.5%（前期 39.9%）、「人手不足」が 32.3%（前期 27.2%）、「人材育成」が 22.8%（前期 21.5%）と上位を占めた。

また、業種別では、製造業で、前期 4 位「人手不足」が 19.5%から今期 2 位の 30.6%となり、若い人材が集まらないとの回答もあることから、人材確保が課題となっている。

建設業では、前期に引き続き 1 位が「人手不足」、前期 3 位「人材育成」が 30.5%から今期 2 位の 34.3%になり、人材に関する課題が表面化している状況が窺える。

全体を見ると、「人材不足」、「人材育成」の割合が前期に引き続き上昇しており、「人材育成」の課題が前期 4 位から今期 3 位となった。自由回答では、従業員の高齢化・若手従業員不足・事業承継問題等の人材に関する課題をあげる事業所が多かった。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は128社 17.8%（前期19.8%）であった。前期と比較して2.0ポイント減少した。

業種別では、製造業が14.6%（前期24.8%）、建設業が21.2%（前期19.5%）、卸売業が9.8%（前期11.6%）、小売業が10.2%（前期9.2%）、飲食業が19.2%（前期26.9%）、サービス業が23.8%（前期23.7%）、交通運輸業が33.3%（前期0.0%）、その他の業種では12.9%（前期15.0%）となり、前期と比較し、建設が、1.7ポイントと最も増加幅が大きく、製造業は、10.2ポイントと最も減少幅が大きい結果となった。（交通運輸業を除く）

業種別では建設業が52社と最も多かった。

◎ 鈴鹿商工会議所地区（調査対象 990 事業所 回答状況 358 事業所）

現 状

平成29年1～6月の業況は、「良い・やや良い」が18.7%（前期17.3%）、「やや悪い・悪い」が39.1%（前期43.6%）となった。DI値は▲20.4（前期▲26.3）となり、前期調査時に比べ5.9ポイント改善する結果となった。

業種別のDI値を見ると、製造業が▲8.4（前期▲24.3）・建設業が▲11.7（前期▲12.9）・卸売業が▲72.8（前期▲60.0）・小売業が▲54.4（前期▲57.5）・飲食業が▲11.6（前期▲28.6）・サービス業が▲20.7（前期▲29.3）となった。

業種別では前期DI値と比較して製造業、建設業、小売業、飲食業、サービス業で改善が見られた。特に製造業、飲食業については、マイナス幅の縮小がみられ改善が見られた。一方、卸売業は悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が12.9%、「やや悪い・悪い」との回答は38.8%、DI値は▲25.9となった。

現状のDI値（▲20.4%）と比較すると、5.5ポイント業況の悪化を見通している。

業種別のDI値を見ると製造業が▲13.2・建設業が▲27.0・卸売業が▲54.6・小売業が▲47.3・飲食業が▲15.4・サービス業が▲24.4となった。

業種別に現状のDI値と比較すると、卸売業が18.2ポイント、小売業が7.1ポイントの改善を見通す一方で、製造業が4.8ポイント、建設業が15.3ポイント、飲食業が3.8ポイント、サービス業が3.7ポイントの悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く、42.5%（前期46.4%）、「人手不足」が33.8%（前期32.0%）「競争激化」が23.7%（前期24.8%）と上位を占めた。

また、業種別では、製造業において、前期4位（20.5%）であった「人手不足」が今期2位（31.3%）と増加しており、人材の確保がこれまで以上に課題となっていると思われる。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は54社 15.1%（前期 14.7%）であった。前期と比較してほぼ横ばいの結果となった。

業種別では、製造業が 16.9%（前期 15.4%）、建設業が 18.0%（前期 16.7%）、卸売業が 0.0%（前期 0.0%）、小売業が 3.5%（前期 12.8%）、飲食業が 19.2%（前期 7.1%）、サービス業が 17.0%（前期 17.1%）となり、前期と比較すると、飲食業が 12.1ポイントと最も増加幅が大きい結果となった。

◎ 亀山商工会議所地区（調査対象 569 事業所 回答状況 129 事業所）

現 状

平成 29 年 1～6 月の業況は、「良い・やや良い」が 14.7%（前期 17.9%）、「やや悪い・悪い」が 39.5%（前期 39.6%）となった。D I 値は▲24.8（前期▲21.7）となり、前期調査時に比べ 3.1ポイント悪化する結果となった。

業種別の D I 値を見ると、製造業が▲17.7（前期▲8.5）・建設業が▲4.4（前期 10.0）・卸売業が▲25.0（前期▲50.0）・小売業が▲55.6（前期▲33.3）・飲食業が▲40.0（前期▲60.0）・サービス業が▲27.4（前期▲37.0）・交通運輸業が 0.0（前期 14.3）・その他の業種が▲16.6（前期▲66.7）となった。

業種別では前期 D I 値と比較して卸売業・飲食業・サービス業・その他の業種で改善が見られた。特に卸売業・飲食業・その他の業種については、大きなマイナス幅の縮小がみられ改善が見られた。一方で、製造業・建設業・小売業・交通運輸業が悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 12.4%、「やや悪い・悪い」との回答は 32.6%、D I 値は▲20.2 となった。

現状の D I 値（▲24.8）と比較すると、4.6ポイント業況の改善を見通している。

業種別の D I 値を見ると製造業が▲14.6・建設業が▲17.3・卸売業が▲25.0・小売業が▲55.5・飲食業が 0.0・サービス業が▲15.2・交通運輸業が 33.3・その他の業種が▲16.6 となった。

業種別に現状の D I 値と比較すると、飲食業が 40.0ポイント・交通運輸業が 33.3ポイント改善を見通すほか、卸売業・小売業・その他業種が現在の水準で推移する見通しである。一方で建設業が▲12.9ポイントと最も大幅に悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」最も多く、45.0%（前期 51.9%）、「人手不足」が 28.7%（前期 17.9%）、「競争激化」が 20.2%（前期 21.7%）、「人材育成」が同じく 20.2%（前期 12.3%）と上位を占めた。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は 21 社 16.3%（前期 16.0%）であった。前期と比較して 0.3ポイント増加した。業種別では、製造業が 17.6%（前期 17.1%）、建設業が 17.4%（前期 10.0%）、卸売業が 0.0%（前期 0.0%）、小売業が 11.1%（前期 13.3%）、飲食業が 40.0%（前期 20.0%）、サービス業が

12.1%（前期 14.8%）、交通運輸業が 66.7%（前期 42.9%）、その他業種では 16.7%（前期 0.0%）となり、前期と比較し、交通運輸業が、23.8 ポイントと最も増加幅が大きく、大幅に減少した業種はないものの、小売業とサービス業は、各 2.2 ポイント、2.7 ポイント減少した結果となった。

◎ 津商工会議所地区（調査 1,721 事業所 回答状況 163 事業所）

現 状

平成 29 年 1～6 月の業況は、「良い・やや良い」が 18.4%（前期 19.3%）、「やや悪い・悪い」が 36.2%（前期 37.6%）となった。D I 値は▲17.8（前期▲18.3）となり、前期調査時に比べ 0.5 ポイント改善し、ほぼ横ばいの結果となった。

業種別の D I 値を見ると、製造業が▲25.9（前期▲11.1）・建設業が▲17.8（前期▲17.0）・卸売業が▲25.0（前期▲0.0）・小売業が▲50.0（前期▲29.3）・飲食業が 25.0（前期▲100.0）・サービス業が▲7.4（前期▲21.6）・交通運輸業が 20.0（前期▲16.7）・その他の業種が 0.0（前期▲15.4）となった。

業種別では前期 D I 値と比較して飲食業、サービス業、交通運輸業、その他業種で改善が見られた。一方で、製造業、建設業、卸売業、小売業が悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 9.8%、「やや悪い・悪い」との回答は 39.2%、D I 値は▲29.4 となった。

現状の D I 値（▲17.8%）と比較すると、11.6 ポイント業況の悪化を見通している。

業種別の D I 値を見ると製造業が▲33.3・建設業が▲33.9・卸売業が▲33.4・小売業が▲50.0・飲食業が▲25.0・サービス業が▲18.5・交通運輸業が 20.0・その他の業種が 0.0 となった。

業種別に現状の D I 値と比較すると、小売業、交通運輸業、その他業種で横ばいになった一方で、製造業は 7.4 ポイント、建設業 16.1 ポイント、卸売業 8.4 ポイント、飲食業 50.0 ポイント、サービス業 11.1 ポイントの悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題については「売上・受注の停滞減少」46.0%（前期 45.5%）が最も多く、次いで「人手不足」25.8%（前期 29.7%）、「競争激化」25.8%（前期 27.3%）が上位を占めた。

また、業種別では、サービス業は「競争激化」（40.7%）を上位にあげ、製造業は「売上・受注の停滞減少」（44.4%）と同じ上位に「設備店舗の狭小老朽化」（44.4%）をあげ、卸売業は「売上・受注の停滞減少」（50.0%）と同じ上位に「競争激化」（50.0%）をあげている。建設業は「売上・受注の停滞減少」（50.0%）に次いで「人手不足」（39.3%）を上位に挙げている結果となった。

【設備投資】

設備投資を実施した企業は 26 社 16.0%（前期 15.8%）であった。前期と比較するとほぼ横ばいの結果となった。業種別では、建設業が 9 社と最も多かった。

◎ 松阪商工会議所地区（調査対象 811 事業所 回答状況 338 事業所）

現 状

平成 29 年 1～6 月の業況は、「良い・やや良い」が 15.4%（前期 17.1%）、「やや悪い・悪い」が 46.2%（前回 48.5%）となった。D I 値は▲30.8（前期▲31.4）となり、前期調査時とほぼ横ばいとなる結果となった。

業種別の D I 値を見ると、製造業が▲29.6（前期▲34.1）・建設業が▲16.4（前期▲10.0）・卸売業が▲27.8（前期▲36.8）・小売業が▲56.6（前期▲46.7）・飲食業が▲28.5（前期▲26.3）・サービス業が▲19.3（前期▲31.5）・交通運輸業が▲6.7（前期▲23.5）・その他の業種が▲60.0（前期▲33.3）となった。

業種別では前期 D I 値と比較して、製造業、卸売業、サービス業、交通運輸業で改善が見られた。一方で、建設業、小売業、飲食業、その他の業種が悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 13.9%、「やや悪い・悪い」との回答は 31.9%、D I 値は▲18.0 となった。

現状の D I 値（▲30.8%）と比較すると、12.8 ポイント業況の改善を見通している。

業種別の D I 値を見ると製造業が▲15.5・建設業が▲4.5・卸売業が▲33.4・小売業が▲40.8・飲食業が▲3.6・サービス業が▲5.2・交通運輸業が▲6.7・その他の業種が▲80.0 となった。

業種別に現状の D I 値と比較すると、製造業が 14.1 ポイント、建設業が 11.9 ポイント、小売業が 15.8 ポイント、飲食業が 24.9 ポイント、サービス業が 14.1 ポイントの改善を見通すほか、交通運輸業が現在の水準でほぼ横ばいとなる見通しである。一方で、卸売業は 5.6 ポイント、その他の業種は 20.0 ポイント悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く 47.3%（前期 48.2%）、「競争激化」が 24.3%（前期 24.7%）、「人手不足」が 22.5%（前期 22.0%）と上位を占めた。

また、業種別では製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業で「売上・受注の停滞減少」が最も多く、飲食業については「原材料高及び不足」が 53.6%、交通運輸業については「人手不足」及び「人材育成」がともに 40.0%、その他の業種では「売上・受注の停滞減少」及び「設備店舗の狭小老朽化」がともに 40.0%と最も多かった。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は 49 社 14.5%（前期 16.2%）であった。前期と比較して 1.7 ポイント減少した。業種別では、建設業が 14 社と最も多かった。

◎ 伊勢商工会議所地区（調査対象 600 事業所 回答状況 202 事業所）

現 状

平成 29 年 1～6 月の業況は、「良い・やや良い」が 23.8%（前期 22.2%）、「やや悪い・悪い」が 36.2%（前期 34.9%）となった。D I 値は▲12.4（前期▲12.7）となり前期調査時に比べほぼ横ばいとなった。

業種別の D I 値を見ると、製造業が▲13.1（前期▲19.0）・建設業が▲0.0（前期 5.0）・卸売業が▲26.2（前期▲36.0）・小売業が▲25.5（前期▲32.2）・飲食業が 9.1（前期 11.6）・サービス業が▲17.1（前期▲4.7）・交通運輸業が▲0.0（前期▲0.0）・その他の業種が 16.7（前期▲27.3）となった。

業種別では前期 D I 値と比較して製造業・卸売業・小売業・その他の業種で改善が見られた。特にその他の業種については、マイナス幅の縮小が見られた。一方で、建設業とサービス業が悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 13.4%、「やや悪い・悪い」との回答は 40.1%、D I 値は▲26.7 となった。

現状の D I 値（▲12.4%）と比較すると、14.3 ポイント業況の悪化を見通している。

業種別の D I 値を見ると製造業が▲30.4・建設業が▲25.8・卸売業が▲52.2・小売業が▲29.4・飲食業が▲27.3・サービス業が▲14.7・交通運輸業が▲33.3・その他の業種が 16.7 となった。

業種別に現状の D I 値と比較すると、サービス業が 2.4 ポイント改善を見通す一方で、製造業は 17.3 ポイント、建設業は 25.8 ポイント、卸売業は 26.0 ポイント、小売業は 3.9 ポイント、飲食業は 36.4 ポイント悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く、42.6%（前期 49.8%）、「競争激化」が 20.8%（前期 32.5%）、「人材育成」が 20.8%（前期 17.3%）と上位を占めた。

また、業種別では、飲食業を除く全ての業種で「売上・受注の停滞減少」が第 1 位となっている。

その他の目立った項目として「人手不足」、「設備店舗の狭小老朽化」の課題が表面化している状況が窺える。

【設備投資】

設備投資を実施した企業は 34 社 16.8%（前期 13.5%）であった。前期と比較して 3.3 ポイント増加した。業種別では、飲食業とサービス業が共に 7 社と最も多かった。

◎ 鳥羽商工会議所地区（調査対象 250 事業所 回答状況 129 事業所）

現 状

平成 29 年 1 月～6 月の業況は、「良い・やや良い」が 17.1%（前期 20.7%）、「やや悪い・悪い」が 43.4%（前期 47.6%）となった。D I 値は▲26.3（前期▲26.9）となり前期調査時と比べ、ほぼ横ばいとなった。

業種別のD I 値を見ると、製造業が 7.0（前期 0.0）・建設業が▲28.6（前期▲35.7）・卸売業が 0.0（前期▲0.0）・小売業が▲36.0（前期▲61.9）・飲食業が▲61.1（前期▲30.8）・サービス業が▲49.9（前期▲0.0）・交通運輸業が 100.0（前期 0.0）・その他の業種が▲28.6（前期▲0.0）となっている。

業種別では前回D I 値と比較して、製造業・建設業・小売業で改善が見られた一方で、飲食業・サービス業が悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 10.9%、「やや悪い・悪い」との回答は 41.9%、D I 値は▲31.0 となった。

現状のD I 値（▲26.3）と比較すると、4.7 ポイント悪化の見通しとなっている。

業種別のD I 値を見ると製造業が 0.0・建設業が▲33.4・卸売業が▲12.5・小売業が▲48.0・飲食業が▲55.5・サービス業が▲50.0・その他の業種が 25.0 となった。

業種別に現状のD I 値と比較すると、製造業が 5.9 ポイント、建設業が 4.8 ポイント、卸売業が 12.5 ポイント、小売業が 9.9 ポイント、飲食業が 17.0 ポイント、サービス業が 4.5 ポイント悪化する見通しとなった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について、前回と変わらず「売上・受注の停滞減少」が最も多く 45.7%（前期 48.8%）を占めた。次いで「人手不足」が 27.9%（前期 29.3%）、「設備店舗の狭小老朽化」が 24.8%（前期 25.6%）と上位を占めた。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は 21 社 16.3%（前期 25.6%）であった。前期と比較して 9.3 ポイント減少した。業種別では、製造業が 17.2%（前期 17.6%）、建設業が 19.0%（前期 21.4%）、卸売業が 0.0%（前期 0.0%）、小売業が 4.0%（前期 14.3%）、飲食業が 33.3%（前期 61.5%）、サービス業が 22.2%（前期 27.3%）、交通運輸業が 0.0%（前期 0.0%）、その他業種が 14.3%（前期 0.0%）となった。

◎ 上野商工会議所地区（調査対象 264 事業所 回答状況 68 事業所）

現 状

平成 29 年 1～6 月の業況は、「良い・やや良い」が 13.2%（前期 10.7%）、「やや悪い・悪い」が 50.0%（前期 39.3%）となった。D I 値は▲36.8（前期▲28.6）となり、前期調査時に比べ 8.2 ポイント悪化する結果となった。

業種別のD I 値を見ると、製造業が▲5.6（前期▲21.4）・建設業が▲54.6（前期▲60.0）・卸売業が▲66.6（前期▲0.0）・小売業が▲55.0（前期▲28.6）・飲食業が 0.0（前期▲25.0）・サービス業が▲50.0（前期▲40.0）となった。

業種別では前期D I 値と比較して製造業と建設業で改善が見られた。特に製造業については、マイナス幅が縮小し、改善が見られた。一方で、小売業とサービス業が悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 13.2%、「やや悪い・悪い」との回答は 45.6%、D I 値は▲32.4 となった。

現状のD I 値 (▲36.8) と今後の見通しD I 値 (▲32.4) とを比較すると、4.4 ポイント改善と業況の改善を見通している。

業種別のD I 値を見ると製造業が▲5.6・建設業が▲18.2・卸売業が▲33.3・小売業が▲70.0・飲食業が 0.0・サービス業が▲37.5 となった。

業種別に現状のD I 値と比較すると、建設業が 36.4 ポイント改善を見通すほか、製造業が 0.0 と現在の水準で推移する見通しである。一方で小売業は、15.0 ポイント悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」最も多く、50.0% (前期 51.8%)、「設備店舗の狭小老朽化」が 19.1% (前期 25.0%)、「競争激化」が 19.1% (前期 17.9%)、「人出不足」が 17.6% (前期 23.2%) と上位を占めた。

また、業種別では、製造業と飲食業において「設備店舗の狭小老朽化」が最も多くあがった。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は 9 社 13.2% (前期 12.5%) であった。前期と比較して 0.7 ポイント増加した。

業種別では、製造業が 11.1% (前期 21.4%)、建設業が 18.2% (前期 0.0%)、卸売業が 33.3% (前期 0.0%)、小売業が 15.0% (前期 9.5%)、サービス業が 12.5% (前期 0.0%)、となり、前期と比較し、前期設備投資のなかった建設業、卸売業、サービス業で設備投資がみられた。製造業は、10.3 ポイントと最も減少幅が大きい結果となった。設備投資「予定あり」が 11.8% (前回 5.4%) で 6.4 ポイント増加している。

◎ 名張商工会議所地区 (調査対象 200 事業所 回答状況 114 事業所)

現 状

平成 29 年 1~6 月の業況は、「良い・やや良い」が 16.7% (前期 22.3%)、「やや悪い・悪い」が 37.8% (前期 49.5%) となった。D I 値は▲21.1 (前期▲27.2) となり、前期調査時に比べ 6.1 ポイント改善したが、「良い・やや良い」の比率は低下する結果となった。

業種別のD I 値を見ると、製造業が▲7.7 (前期▲18.7)・建設業が▲16.7 (前期 16.0)・卸売業が 10.0 (前期 14.3)・小売業が▲34.8 (前期▲50.0)・飲食業が▲57.2 (前期▲33.3)・サービス業が▲20.7 (前期▲30.8)・その他の業種が▲33.3 (前期▲57.1) となった。

業種別の前期D I 値との比較では製造業と小売業・サービス業・その他の業種で改善が見られた。特にその他の業種で、マイナス幅が大きく縮小する改善が見られた。一方で、建設業では前期プラスからマイナスに大きく悪化したほか、卸売業・飲食業が悪化し、特に飲食業については、マイナス幅が拡大した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 13.2%、「やや悪い・悪い」との回答は 34.2%、D I 値は▲21.0 となった。

現状のD I 値（▲21.1）と比較すると、0.1 ポイントとほぼ横ばいを見通している。

業種別のD I 値を見ると製造業が 0.0・建設業が▲16.7・卸売業が▲20.0・小売業が▲34.8・飲食業が▲57.2・サービス業が▲11.8・その他の業種が▲22.2 となった。

業種別に現状のD I 値と比較すると、製造業が 7.7 ポイント・サービス業は 8.9 ポイント・その他の業種は 11.1 ポイントの改善を見通すほか、建設業・小売業・飲食業が 0.0 ポイントと現在のマイナス水準で推移する見通しである。一方で卸売業は、プラスからマイナスへ 30.0 ポイントの悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について、「売上・受注の停滞減少」が最も多く、43.0%（前期 42.7%）、「競争激化」が 23.7%（前期 32.0%）、「人件費以外の経費増加」と「人材育成」が 15.8%と上位を占めた。

また、業種別では、その他の業種以外のすべての業種において「売上・受注の停滞減少」が上位を占めているが、製造業では「設備店舗の狭小老朽化」も同じように挙げている。次いで「競争激化」を挙げているのが建設業（38.9%）、小売業（30.4%）、サービス業（29.4%）、「人件費以外の経費増加」が建設業（27.8%）、小売業（17.4%）、「人材育成」が卸売業（40.0%）、サービス業（17.6%）となっている。小売業については「製品・商品単価の下落」も 21.7%と上位を占めている。

【設備投資】

設備投資について、設備投資を実施した企業は 14 社 12.3%（前期 13.5%）であった。前期と比較して 1.2 ポイント減少した。

業種別では、製造業が 7.7%（前期 18.8%）、建設業が 16.7%（前期 8.0%）、卸売業 20.0%（前期 0.0%）、小売業が 8.7%（前期 0.0%）、飲食業が 14.3%（前期 33.3%）、サービス業が 11.8%（前期 19.2%）、その他の業種では 0.0%（前期 28.6%）となり、前期と比較し、卸売業が 20.0 ポイントと最も増加幅が大きく、その他の業種は 28.6 ポイントと最も減少幅が大きい結果となった。

◎ 尾鷲商工会議所地区（調査対象 144 事業所 回答状況 129 事業所）

現 状

平成 29 年 1～6 月の業況は、「良い・やや良い」が 10.9%（前期 10.5%）、「やや悪い・悪い」が 52.7%（前期 48.1%）となった。D I 値は▲41.8（前期▲37.6）となり、前期調査時に比べ 4.2 ポイント悪化する結果となった。

業種別のD I 値を見ると、製造業が▲28.1（前期▲28.6）・建設業が▲28.6（前期▲15.8）・卸売業が▲60.0（前期▲50.0）・小売業が▲65.6（前期▲52.9）・飲食業が▲66.6（前期▲41.7）・サービス業が▲47.0（前期▲47.6）・交通運輸業が▲20.0（前期 0.0）・その他の業種が 0.0（前期▲33.4）となった。

業種別では前期D I 値と比較してその他の業種で改善が見られた。製造業・サービス業については、横ばいとなった。一方で、建設業・卸売業・小売業・飲食業・交通運輸業が悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 5.5%、「やや悪い・悪い」との回答は 43.4%、D I 値は▲37.9 となった。

現状の D I 値 (▲41.8) と比較すると、3.9 ポイント業況が改善している。

業種別の D I 値を見ると製造業が▲25.1・建設業が▲66.6・卸売業が▲40.0・小売業が▲43.8・飲食業が▲44.4・サービス業が▲23.5・交通運輸業が▲60.0・その他の業種が 0.0 となった。

業種別に現状の D I 値と比較すると、サービス業が 23.5 ポイント改善する他、飲食業が 22.2 ポイント、小売業が 21.8 ポイント、卸売業が 20.0 ポイント、製造業が 3.0 ポイントの改善し、一方で交通運輸業は 40.0 ポイント、建設業で 38.0 ポイント悪化する結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題については「売上・受注の停滞減少」が最も多く、55.0% (前期 51.1%)、「設備店舗の狭小老朽化」が 20.9% (前期 18.0%)、「原材料高及び不足」が 19.4% (前期 18.0%) と上位を占めた。

また、業種別では、その他の業種が、前期 1 位「売上・受注の停滞減少」50.0%から今期 1 位「原材料高及び不足」57.1%に変動しており、飲食業においても「原材料高及び不足」が今期 1 位 66.7% (前期 1 位 58.3%) となっていることから「原材料高及び不足」の課題が表面化している状況が窺える。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は 15 社 11.6% (前期 18 社 13.5%) であった。前期と比較して 1.9 ポイント減少した。

業種別では、製造業 6.3% (前期 14.3%)、建設業 0.0% (前期 10.5%)、卸売業 0.0% (前期 12.5%)、小売業 6.3% (前期 11.8%)、飲食業 22.2% (前期 8.3%)、サービス業 35.3% (前期 19.0%)、交通運輸業 20.0% (前期 50.0%)、その他の業種 28.6% (前期 0.0%) となり、前期と比較し、その他の業種が 28.6 ポイントと最も増加幅が大きく、交通運輸業は 30.0 ポイントと最も減少幅が大きい結果となった。業種別での件数では、サービス業が 6 社と最も多かった。

◎ 熊野商工会議所地区 (調査対象 200 事業所 回答状況 49 事業所)

現 状

平成 29 年 1~6 月の業況は、「良い・やや良い」が 14.2% (前期 6.7%)、「やや悪い・悪い」が 55.1% (前期 63.4%) となった。D I 値は▲40.9 (前期▲56.7) となり、前期調査時に比べ 15.8 ポイント改善する結果となった。

業種別の D I 値を見ると、製造業が▲66.7 (前期▲54.6)・建設業が▲40.0 (前期▲0.1)・卸売業が▲100.0 (前期▲100.0)・小売業が▲50.0 (前期▲73.3)・サービス業が▲10.0 (前期▲42.9) となった。

業種別では前期 D I 値と比較して小売業・サービス業で改善が見られた。特にサービス業については、マイナス幅が大幅に縮小し 32.9 ポイント改善した。一方で、製造業・建設業が悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 8.1%、「やや悪い・悪い」との回答は 51.0%、D I 値は▲42.9 となった。

現状の D I 値 (▲40.9) と比較すると、2.0 ポイント業況の悪化を見通している。

業種別の D I 値を見ると製造業が▲66.6・建設業が▲60.0・卸売業が▲100.0・小売業が▲38.9・サービス業が▲20.0・その他の業種が▲25.0 となった。

業種別に現状の D I 値と比較すると、小売業が 11.1 ポイント改善を見通すほか、製造業と卸売業が現在の水準で推移する見通しである。一方で建設業が 20.0 ポイント、サービス業が 10.0 ポイント悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く、57.1% (前期 53.3%)、「設備店舗の狭小老朽化」が 24.5% (前期 18.3%)、「人手不足」が 22.4% (前期 11.7%) と上位を占めた。

また、ほぼすべての業種において「売上・受注の停滞減少」が最も多く、建設業では加えて「人手不足」、「競争激化」もそれぞれ同数で最も多く挙げられている。その他の業種では「人手不足」、「人材育成」が同数で最も多くなっていることから、全体的に見て人材確保に関する課題が表面化してきている状況が窺える。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業はその他の業種 1 社 2.0% (前期 21.7%) であった。前期と比較して 19.7 ポイント減少した。

景況調査票

平成29年7月

会議所	No.

※各設問に対して該当するものに○をして下さい。

I. 企業の概要

1. 業種 (主たるもの1つ)

〈製造業〉	1.食料品	2.繊維品	3.機械製品	4.金属製品	5.木材木製品
	6.化学製品	7.土石窯業	8.印刷・出版	9.その他	
〈建設業〉	10.土木工事	11.建築工事	12.その他		
〈卸売業〉	13.食料品	14.繊維・身の回り品	15.その他		
〈小売業〉	16.繊維・身の回り品	17.食料品	18.家具・日用品	19.電気製品	20.その他
〈飲食業〉	21.飲食店				
〈サービス業〉	22.美容・理容	23.ホテル・旅館	24.自動車整備	25.不動産	26.その他
〈交通運輸業〉	27.交通運輸	〈その他〉	28.その他		

2. 常時使用従業員数(会社の役員・家族従業員・パートを除く)

1. 0～5人	2. 6～20人	3. 21～50人	4. 51～100人	5. 101人以上
---------	----------	-----------	------------	-----------

II. 企業の経営状況について

3. 弱状について…平成29年1～6月の業況は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 良	2. やや良い	3. 変わらない	4. やや悪い	5. 悪い
↑ 理由: _____)				

4. 今後の見通しについて…平成29年7～12月の業況は前年同期に比べてどうなると思いますか。

1. 良	2. やや良い	3. 変わらない	4. やや悪い	5. 悪い	6. わからない
↑ 理由: _____)					

5. 売上状況について…平成29年1～6月の売上は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 増	2. やや増加	3. 変わらない	4. やや減少	5. 減少
------	---------	----------	---------	-------

6. 売上の見通しについて…平成29年7～12月の売上は前年同期に比べてどうなると思いますか。

1. 増	2. やや増加	3. 変わらない	4. やや減少	5. 減少	6. わからない
------	---------	----------	---------	-------	----------

7. 利益状況について…平成29年1～6月の利益は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 増	2. やや増加	3. 変わらない	4. やや減少	5. 減少
------	---------	----------	---------	-------

8. 販売条件(単価・決済方法)について…平成29年1～6月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好	2. やや好転	3. 変わらない	4. やや悪化	5. 悪	6. 悪化
------	---------	----------	---------	------	-------

9. 仕入条件(単価・決済方法)について…平成29年1～6月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好	2. やや好転	3. 変わらない	4. やや悪化	5. 悪	6. 仕入なし
------	---------	----------	---------	------	---------

10. 設備投資について

平成29年1～6月の実績	平成29年7～12月の予定
1. 行った	2. 行わない
1. 予定あり	2. 予定なし

11. 資金繰りの現状について…平成29年1～6月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好	2. やや好転	3. 変わらない	4. やや悪化	5. 悪	6. 悪化
------	---------	----------	---------	------	-------

12. 資金繰りの見通しについて…平成29年7～12月は前年同期に比べてどうなると思いますか。

1. 好	2. やや好転	3. 変わらない	4. やや悪化	5. 悪	6. わからない
------	---------	----------	---------	------	----------

13. 借入の現状について…平成29年1～6月はどうでしたか。(借入された方のみ)

1. 容易	2. 普通	3. 困難
-------	-------	-------

14. 借入予定はどうですか…(平成29年7～12月)

1. 予定している	2. 予定していない
-----------	------------

14-1. 借入先は、どこを希望されますか。(主たるもの一つ)

1. 民間金融機関	2. 公的金融機関	3. その他
-----------	-----------	--------

14-2. 資金使途は何を予定されていますか。(主たるもの一つ)

1. 運転資金	2. 設備資金
---------	---------

15. 現在経営上で、困っている問題点は何か。あれば3つ以内で選んでください。

1. 売上・受注の停滞減少	6. 設備・店舗の狭小老朽化	11. 競争激化
2. 製品・商品単価の下落	7. 売掛・債権回収の悪化	12. 人材育成
3. 人手不足	8. 人件費の増加	13. 立地条件の悪化
4. 過剰人員	9. 人件費以外の経費の増加	14. 法的規制等(緩和を含む)
5. 借入難	10. 原材料高及び不足	15. 税務・経理問題

16. その他困っている問題・御意見等があれば御記入ください。

(_____)

御協力ありがとうございました。